

## Ⅸ 進学にかかる費用の目安

進学するとどれくらいお金が必要？ここでは、進学にかかる費用の概要を説明します。

### ○受験料

- ・ 私立大学：35,000 円程度
- ・ 専門学校：20,000 円程度
- ・ 受験に必要な交通費・宿泊費

### ○入学納入金

入学時には、入学金、1 年次前期授業料、諸経費（施設設備費）などを納入する必要があります。学校種別の平均的な入学納入金は以下の通りです。

- ・ 国立大学：82 万円
- ・ 私立大学：143 万円
- ・ 私立短期大学：126 万円
- ・ 専門学校：122 万円

### ○入学後の納入金

- ・ 1 年次：9 月に後期授業料＋諸経費を納入します。
- ・ 2 年次～4 年次：4 月に前期授業料＋諸経費、9 月に後期授業料＋諸経費を納入します。

分納制度：学費は通常、前期・後期と 1 年に 2 回の支払いとなりますが、学校によっては、年 6 回や月々など分割して納入できる「分納制度」を設けている場合があります。詳細は各学校に確認してください。

## 生活費について

### 1. ひとり暮らしの生活費はどれくらい？

ひとり暮らしでは、家賃に加え、食費、電気・ガス・水道などの水道光熱費、電話代など色々な費用がかかります。さらに、トイレットペーパーや薬など、今までは自宅で共有していたものも購入しなくてはなりません。その上で、友人との交際費・娯楽費も必要となってきます。

《家賃を除く 1 か月の生活費（全国平均）約 14 万 4,000 円》

#### 内訳

|            |          |
|------------|----------|
| （1）食費      | 42,049 円 |
| （2）光熱・水道   | 13,045 円 |
| （3）家具・家事用品 | 5,760 円  |
| （4）被服・履物   | 4,447 円  |
| （5）保健医療    | 7,367 円  |

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| (6) 交通・通信 | 21,654 円                   |
| (7) 教養娯楽  | 18,794 円                   |
| (8) その他   | 30,704 円                   |
| 合計        | 143,822 円 ※2023 年総務省家計調査より |

家賃相場（2025 年 3 月時点）：

| 地域      | 平均家賃（1 人暮らし） |
|---------|--------------|
| 東京 23 区 | 8 万 9,200 円  |
| 札幌市     | 5 万 3,800 円  |
| 名古屋市    | 4 万 9,000 円  |
| 大阪市     | 4 万 4,000 円  |
| 福岡市     | 4 万 3,000 円  |

## 2. 住まいを借りるための費用は？

部屋を借りるために最初に支払わなければならない家賃関連の費用は、敷金、礼金、不動産仲介料などがかかります。実際の家賃の 4～6 か月分になります。家賃は地域によって差があり、都市部の方が高い傾向にあります。

《住まいを借りるための初期費用（全国平均）208,575 円》

内訳

### （1）敷金

賃料保証のために預けておくお金で、部屋を出るとき、修繕費等に充てる。修繕費の方が高い場合は、追加で請求されることもある。

### （2）礼金

家主への謝礼的なお金で、返ってくることはない。

### （3）仲介手数料

不動産会社に支払うお金で、不動産会社によって家賃の半月分から 1 か月分までの差がある。

## 3. 一人暮らしで最初にそろえる生活用品の費用は？

（全国平均）276,000 円

一般的に必要な家電用品は、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、掃除機など。家電付きの賃貸物件もありますが、部屋によっては、エアコン、こたつなどの冷暖房機も必要になります。リサイクルショップで購入することで費用を抑えることもできます。

## 4. その他

引っ越しが必要な場合には、引っ越し料金も考える必要 があります。

### 奨学金・教育ローンについて

進学希望者には奨学金や教育ローンがあります。奨学金・教育ローンで主なものは次の3つです。返済義務のある奨学金が多いので、利用する際は借り始めから卒業後の返還までを考えた資金計画をしっかりと練っておくことが大切です。

#### 1. 日本学生支援機構

貸与型助成金（無利子/有利子の2種）（JASSO）

わずか600万円程度まで支援対象が拡大（2024年度補正）

給付型奨学金も拡充

#### 2. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

最大350万円まで借入可能

低選択（2025年4月入学者向け最新情報）

入学前にまとまった資金を準備できる

#### 3. その他の奨学金・教育ローン

銀行や地方自治体、学校独自の助成金あり

それぞれの条件・考え方が異なるため、必ず最新の情報を各機関で確認

## 4. 計算例（参考）

私立大学進学の場合（必要資金：約415万円）

国の教育ローン：100万円（1.66%）

日本学生支援機構：384万円（0.15%）

返済額や毎月の返済額は利率によって変動します。必ず個別に最新の条件を確認

## 5. 注意事項

- ・ 金額や制度内容は年度や地域、個人の条件によって変わります。
- ・ 利用を検討する際は、各機関の公式サイトや学校の助成金担当に必ずご確認ください。
- ・ 進学後の生活設計や今後の計画も十分頑張ってみましょう。
- ・ マネープランで試算してみよう。

## マネープランシート

☆必要となる金額を調べよう (合計 円)

|                        |           |      |   |
|------------------------|-----------|------|---|
| 1. 学費                  |           |      |   |
| ①入学金                   | 円 + 施設設備費 | 円 =  | 円 |
| ②授業料 (前期)              | 円 ×       | 回 =  | 円 |
| ③授業料 (後期)              | 円 ×       | 回 =  | 円 |
| ④諸経費 (前期)              | 円 ×       | 回 =  | 円 |
| ⑤諸経費 (後期)              | 円 ×       | 回 =  | 円 |
| 2. 生活費                 |           |      |   |
| ①ひとり暮らしの準備金            |           |      | 円 |
| ②生活費 (1 か月当たり)         | 円 ×       | か月 = | 円 |
| 3. その他経費               |           |      |   |
| ①受験料                   |           |      | 円 |
| ②受験諸費用 (受験に必要な交通費・宿泊費) |           |      | 円 |

☆必要となる金額を調べよう (合計 円)

|                           |      |        |
|---------------------------|------|--------|
| 1. 家計から (保護者の方としっかり相談する事) |      | 円      |
| 2. 奨学金                    |      |        |
| ①日本学生支援機構 (月額)            | 万円 × | か月 = 円 |
| ②国の教育ローン                  |      | 円      |
| ③その他教育ローン・奨学金             |      | 円      |
| ④学校独自の奨学金制度               |      | 円      |
| 3. アルバイト                  |      | 円      |

◇返済が必要な奨学金 (合計 円)

| 制度名            | 借入金額 | 毎月の返済額 | 返済期間 | 返済総額 |
|----------------|------|--------|------|------|
| ①日本学生支援機構 (月額) |      |        |      |      |
| ②国の教育ローン       |      |        |      |      |
| ③その他教育ローン・奨学金  |      |        |      |      |
| ④学校独自の奨学金制度    |      |        |      |      |
| ⑤その他           |      |        |      |      |

※ 借入れ条件・利率・返済金額・返済方法等必要な情報は、それぞれの団体が発行している要項やホームページを利用して調べよう。  
(毎月の返済金額を調べるには、ホームページを利用すると便利である。)